

活動報告書 8月号

2022.7.31

モーニングセミナーピックアップ

7月2日 松濱和幸氏



「遠きをはかる人生 そして今日は最良の一日です」

参加人数が68名(!)と、今期最多の動員数となったMSの講話者は、当単会の松濱和幸会員。トップセールスマンの彼は、講話中のキーワードを調べ上げて自分の行動に落とす努力を人の3倍しています。年輪経営で有名な塚越会長とも面会を果たし「今の業績は10年前に作られた」と聞いたそうです。まさに「遠きをはかる人生」を送っている方で、自分もそうありたいと思い、日々行動しているとのこと。

7月23日 中島大樹氏



「目標達成の技術」

「人はいつでも必ず良くなれるのです」と話す、アチーブメント株式会社の中島大樹氏。成功と失敗を分ける最大の要因は思考と行為の違いだそうです。聴講者同士の短時間のワークを挟みながら、セルフカウンセリング、理念経営、共感化について講義してくださいました。

他単会での講話



かわもとみえ専任幹事
7月1日
清水倫理法人会

影山秀樹 県副幹事長
7月5日
沼津市倫理法人会

新入会員スピーチ



見返りを一切求めない、
ヒーローの姿が大好き!
と話す杉山友香会員

静岡の土地柄・人柄に
ピンと来て東京から移
住した松田亜由美会員

倫理実践・倫理体験報告



先日、腰に電気が走るほどの痛みがあり、近所の接骨院にかかりました。そこで施術の先生が興味深い話をしてくださいました。WHOの憲章が定める健康とは「病気でないということではなく、肉体的・精神的・社会的に、すべてが満たされた状態にあること」だそうです。その話を聞き、これは万人幸福の葉の第7条(疾病信号)のことを言っているのだと解釈しました。「病気の原因になっている心のまちがいは、実は、その人の家庭の不和、事業の不振等から来るもので、(中略)自分の肉体に赤信号としてあらわれているのである」と。ですので、腰痛の根本原因である私の心の間違いを治せば、社会的にも満たされる、つまり事業も上手く行くことになります。このことに気付いた今では「心の間違いを治すのだ」という明るい気持ちで、毎週楽しく接骨院に通っているのです。

(幹事 村松秀雄)

配布責任者 三浦 健二郎